

バボラーク・アンサンブル with 吉野直子 開催のお知らせ

当館専属楽団「水戸室内管弦楽団」メンバーであり、これまで、チェコ・フィル、ミュンヘン・フィル、ベルリン・フィルなどのソロ・ホルン奏者を歴任してきた世界トップクラスのホルン奏者、ラデク・バボラーク。演奏するのが難しいと言われるホルンをあまりにも軽々と吹いてしまうため、小澤征爾・水戸室内管弦楽団総監督をして“ホルンの怪物”とまで言わしめた一方で、持ち前の愛嬌とフレンドリーな優しさから、若い世代を中心に“バボちゃん”の愛称で親しまれています。今回のコンサートは、“ホルンの怪物”と“バボちゃん”という彼の両面を存分にお楽しみいただける内容になっています。

「バボラーク・アンサンブル」は、バボラークがプラハ音楽院時代の親友たちと組んだホルンと弦楽四重奏のグループです。気の置けないチェコの仲間たちとのアンサンブルに、バボラークが心から信頼を寄せるハープ奏者、吉野直子も加わり、美しいハーモニーをお届けします。

つきましては、貴媒体にてご紹介くださいますようお願い申し上げます。

バボラーク・アンサンブル with 吉野直子

2023年11月26日(日)
13:30 開場・14:00 開演

【会場】水戸芸術館コンサートホールATM

【料金】全席指定／一般4,500円、
U-25（25歳以下）1,500円

【出演】
バボラーク・アンサンブル（ホルンと弦楽四重奏）
吉野直子（ハープ）

【曲目】
ベートーヴェン（バボラーク編）：ホルン五重奏曲（原曲：弦楽五重奏曲 変ホ長調 作品4）
シベリウス（バボラーク編）：フィンランドのホルン（原曲：弦楽三重奏曲）
マーラー（バボラーク編）：アダージェット（交響曲 第5番より 第4楽章） ほか

【チケット取り扱い】水戸芸術館（9:30～18:00／月曜休館） 好評発売中

[電話] チケット予約センター Tel.029-231-8000

[WEB] <https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>

[窓口] エントランスホール内チケットカウンター

主催：公益財団法人水戸市芸術振興財団



【お問合せ】企画について：水戸芸術館音楽部門（担当：関根）Tel.029-227-8118
ご掲載について：水戸芸術館広報係（担当：井坂、川崎）Tel.029-227-8111
E-mail. kouhou@arttowermito.or.jp
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8 <https://www.arttowermito.or.jp/>

バボラーク・アンサンブル

ラдек・バボラーク (ホルン)
ミラン・アル＝アシャブ (ヴァイオリン)
マルティナ・バチョヴァー (ヴァイオリン)
カレル・ウンターミュラー (ヴィオラ)
ハナ・バボラコヴァ (チェロ)



© Vaclav Jirasek

ホルン奏者、指揮者のラдек・バボラークにより創設。

アンサンブルの主な編成はフレンチホルンと弦楽四重奏だが、各作品のスタイルに応じて形を変えている。2016年に行った日本ツアーは、モーツァルト・プログラムで全国各地を席卷、NHKでもテレビ収録された。2018年にも再び来日、好評を博した。プラハの春音楽祭、スメタナ音楽祭、ヤナーチェク音楽祭、ベルリンのブレーズ・ザール等からも定期的に招かれ、プラハの聖アグネス教会ではレジデント・アーティストを務めた。ピアソラなどダンス音楽を中心としたプロジェクト“ORQUESTRINA”はベルリン・フィルハーモニーの室内楽ホールを熱狂に包んだ。モーツァルト・アルバム、ピアソラ作品集などCDリリースも多い。最新盤はホルンと弦楽四重奏のためのブラームス、グラスノフ、シベリウス作品集。



© Lucie Čermakova

ラдек・バボラーク (ホルン)

1976年チェコ生まれ。94年にミュンヘン国際コンクールで優勝、「美しく柔らかな音色」、「完璧な演奏」、「ホルンの神童」と評される。小澤征爾、バレンボイム、レヴァインなどトップクラスの指揮者からの信頼も厚く、ソリストとしてベルリン・フィルはもちろん、ウィーン・フィル、バイエルン放送響等と圧倒的な名演を残し続けている。これまでチェコ・フィル、ミュンヘン・フィル、バンベルク響、ベルリン・フィルのソロ・ホルン奏者を歴任。さらに、水戸室内管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラをはじめとする世界のオーケストラにも参加。近年は指揮者としての活躍も目覚ましく、チェコ・シンフォニエッタを創設。ヨーロッパや日本での客演も重ねる。2021年より西ポヘミア交響楽団首席指揮者を務めている。



© tomoko hidaki

吉野直子 (ハープ)

ロンドン生まれ。第9回イスラエル国際ハープ・コンクールに参加者中最年少の17歳で優勝。世界各地でソロ・リサイタルを行うとともに、ベルリン・フィル、イスラエル・フィル、フィラデルフィア管、アーノンクール、小澤征爾、メータ、クレーメル、シュルツ、バボラーク、パユなど、国内外の主要オーケストラ、指揮者、ソリストと数多く共演を重ねている。ハープの新作にも意欲的に取り組み、武満徹、細川俊夫など初演した作品は数多い。2016年からは自主レーベルのグラツィオーソ(grazioso)による新たな録音プロジェクトを開始。国際基督教大学卒業。